

平成24年度 第1回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 平成24年6月20日(水) 15:00～17:00

場 所 鳥取大学事務局3階 第1会議室

出席者 岡本委員、長谷川委員、永井委員、吉岡委員

能勢委員、林委員、本名委員、萩原委員、井藤委員、小林委員、北野委員

欠席者 安藤委員、平井委員、古澤委員

[陪席者] 山根監事、岸田副学長、若副学長、安藤地域学部長、田中工学研究科長、北村農学部長

議事に先立ち学長から、国立大学の役割の明確化(ミッション再定義)、グローバル化に向けた取組、地域産業のニーズに合わせた大学運営など、大学改革に向けた取組を求められている最近の状況に触れ、委員の皆様方から意見を賜りたい旨挨拶があった。また、これに関連して報告事項1「大学改革に関する政府の検討状況」を説明した後、議題に入ることとした。

報 告

1. 大学改革に関する政府の検討状況(資料7)

萩原理事から大学改革に関する政府の検討状況について、以下の事項を中心に説明があった。

- ・各学部のミッションの再定義
- ・多様な大学間連携(国立大学の一法人複数大学方式など)
- ・政策目的に基づいた基盤的経費の重点配分

議 題

1. 職員給与の取扱いについて(国家公務員給与削減特例法への対応)(資料1)

萩原理事から、国家公務員給与削減特例法に準拠した、本学の取扱いについて説明があり、承認された。今後団体交渉の過程で変更があった際の対応については学長に一任することで了承された。(取扱いの概要については以下のとおり)

- ・実施時期 平成24年7月1日～平成26年3月31日(平成24年4月への遡及はしない。)
- ・国家公務員の特例減額率に準じて減額
- ・特命職員、医員・研修医(年俸制)等を除くすべての役職員を減額の対象とする
- ・附属学校部教員については鳥取県の対応が決定するまで当面对象外
- ・医療技術職員及び看護職員については、減額相当分を補填
- ・医学部附属病院で診療に従事する教員について、定額の手当を支給

2. 平成23年度業務実績報告書について（資料2）

小林副学長から、平成23年度業務実績報告書について、教育、研究、病院運営、管理運営など、本学の特徴的な取組について説明があり、承認された。

3. 平成23年度決算について（資料3）

萩原理事から、平成23年度決算について説明があり、平成23年度の当期総利益は約17億円となり、そのうち現金の裏付けのある利益は約3億円であること、また業務達成基準を活用して翌年度へ約5億円繰越したことなど説明があり承認された。

4. 平成22年度決算剰余金（目的積立金）の予算について（資料4）

林理事から、平成22年度決算剰余金（目的積立金）の予算について、本年3月に文部科学省より翌事業年度への繰越承認があったこと及びその予算（案）について附属病院の施設設備整備にあてる旨の説明があり、承認された。

5. 平成25年度概算要求について（資料5）

林理事から、平成25年度概算要求事項（案）について組織、特別経費（プロジェクト分・基盤的設備等整備分）、施設整備事業等を要求予定としており、要求順位については文部科学省との事前打ち合わせを踏まえて決定したい旨説明があり、承認された。

6. 学長候補者の選考手続きについて（資料6）

萩原理事から、学長候補者の選考手続きについて、学長選考会議より経営協議会に対して学長候補者の資格を有すると認められる者2名以上の推薦を求められたことに伴い、平成16年に制定した申合せを改正すること、及び推薦に係る取扱について説明があり、承認された。

報 告

2. 岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科の設置について（資料8）

本名理事から、岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科の設置について、4/27に申請し、大学設置・学校法人審議会による審議の結果、設置が了承された旨報告があった。

3. 前中期目標期間繰越積立金に係る決算報告について（資料9）

萩原理事から、前中期目標期間繰越積立金に係る決算について、平成23年度は救急救命センター及び高次感染症センターの工事進捗に応じ約2億円を支出した旨報告があった。

4. 平成23年度資金運用実績について（資料10）

萩原理事から、平成23年度資金運用実績について7,658千円の運用実績があった旨報告があった。

5. 平成24年度学長経費の採択状況について（資料11）

林理事から、平成24年度学長経費の採択について、教育・研究改善推進費80,850千円、特別事業費16,150千円、トップマネジメント経費37,700千円を決定した旨報告があった。

6. 入学者及び就職者状況について（資料12）

本名理事から、入学者状況及び就職者状況について説明があり、入学者について県内と県外の割合が2：8となっており、今後さらに県内入学者の割合を増やしていくべく、活動していきたい旨報告があった。就職者の状況としては、全国平均を上回っているので就職状況としては良好であり、今後県外出身者の県内定着とあわせて県内出身者も定着できるような仕組みを考えていきたい旨報告があった。

7. 係属中の訴訟について（資料13）

萩原理事から、本学が係属中の訴訟について報告があった。

8. その他

学長から、次回の経営協議会は8月31日に開催させていただく旨発言があり、引き続きご指導・ご協力を賜りたい旨挨拶があった。

以上